



各 位

会 社 名：株式会社夢真ホールディングス

(コード：2362 JASDAQ,S)

代表者名：代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾

問合せ先：取締役 佐藤 大央

(TEL：03-5981-0672)

2014年9月期 第1四半期 連結決算概況について

当社の2014年9月期 第1四半期 連結決算概況につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. ハイライト

- ① 建築技術者派遣事業の四半期売上高 過去最高を達成 ⇒ 好調なスタート
- ② 稼働率は高水準で維持 派遣単価は回復基調 ⇒ 売上総利益2ケタ増益
- ③ 建築技術者の採用活動を更に強化 ⇒ 四半期採用人数倍増も、採用特化のTVCM放映等により費用先行

(単位：百万円)

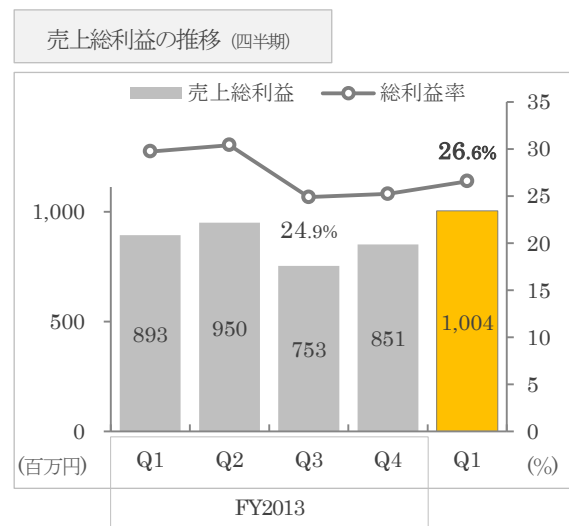
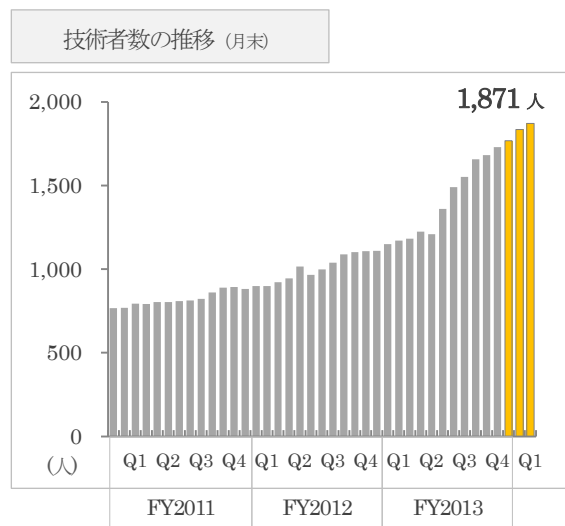
	2014年9月期 第1四半期	前年同期比		2013年9月期 第1四半期
		増減額	増減率	
売上高	3,780	+774	125.8%	3,005
売上総利益	1,004	+110	112.4%	893
経常利益	365	△111	76.6%	476
四半期純利益	298	△12	96.1%	310
期中採用人数	275人	+142人	206.7%	133人
期中平均技術者数	1,825人	+682人	159.7%	1,143人

2. サマリー

当社グループにつきましては、建設業界における今後の全国的なインフラ整備工事、本格化する東北の復興工事、そしてオリンピック関連工事等、今後の技術者派遣需要の増加を見込み、当社の中核事業である「建築技術者派遣事業」に経営資源を集中させる戦略をとっております。建設業界の人手不足は益々深刻化しており、当社では全社を挙げて積極的な採用活動に注力しております。

当第1四半期の、売上高につきましては、技術者の積極採用による稼働人数の増加により、建築技術者派遣事業の売上高として、四半期最高を達成いたしました。

利益面につきましては、前第3四半期(2013年4～6月)における戦略的な新人派遣単価の引下げによる利益率低下の影響が残っておりますが、前第4四半期以降、堅調に回復してきております。また、積極的な採用強化策(求人媒体の増加、採用に特化したTVCM放映等)により費用先行の時期であることから、上記のとおり結果となりました。引き続き、採用活動および利益率の引上げに注力してまいります。



以 上